



11月23(土)、24日(日)に、初声市民センターで、三浦市創造展が開催され、本研究所も参加させていただきました。

本年度の海洋教育写真コンテストの入賞作品の展示については、多くの来場者が注目し、「年々レベルが上がっている」「どうやって撮ったんだろう」などの感想をいただきました。



各学校の海洋教育活動の写真については、自分の学校の活動を見つけて喜ぶ子どもたちの声が聞かれました。

三浦で栽培されている野菜の展示では、ダイコンとカブの区別について、大人も子どももたいへん興味を持ってチャレンジしていました。



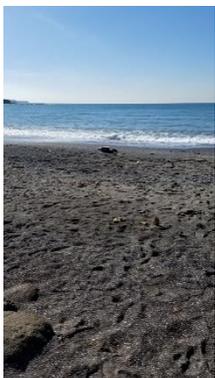
この2日間で、1000人を超える方々が来場され、子どもたちの作品を鑑賞していました。三浦の海洋教育についても紹介できてよかったです。

## 上宮田小学校3年生 海藻おしば教室のアンケートより

- ・海藻は、海のおそうじやさんだと思った
- ・ヌメヌメしていたけれど、初めて海藻にさわれてうれしかった
- ・海藻は、魚のかくれ家にもなるし、私たちの食べ物でもあるので、とっても大事なものだと思った
- ・今、海の森がへっているというのを、初めて知った/海にゴミを捨てる人が少なくなればよかった



- ・温暖化の原因が、海にもあることにおどろいた
- ・海藻ちゃんとより仲良くなれて楽しかった
- ・海のことをいろいろ聞けて、初めて知ったことやおもしろいと思ったことなど、いろいろ学べて楽しかった
- ・お話も聞かせてもらって、この2時間が楽しかった



11月19日(火)に、YMCA三浦グローバル・エコ・ヴィレッジより「長浜の海岸に、ウミガメがあがった」という連絡がありました。

本研究所より、観音崎自然博物館を通して、神奈川県にあがったウミガメの調査をしている研究者に連絡してもらいました。早速、現地で調査をしていただきました。

残念ながら、ウミガメはすでに死んでいたようですが、写真を送っていただきました。観音崎自然博物館によると神奈川県海岸には、年間100頭ほどが漂着するそうです。



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで